

品川区区民保養所のあり方に係るサウンディング調査の実施結果について

1 サウンディングの実施等

- (1) 現地説明会 参加者 品川荘 3社、光林荘 0社
- (2) サウンディング（対話） 参加者 4社

2 サウンディングにおける主な提案・意見

項目	提案・意見
現状有姿による活用方法・条件について	品川荘 ・売却および賃貸 ・「保養所」という概念から完全に脱却した体験型施設へ転換 ・還暦のお祝いを宴会場貸し切りで行う、介護サービス付きの三世代型保養所 ・多様なプラン設定（館内エステ付きの女子旅、夫婦旅プランや和食、浴衣等の日本文化体験のインバウンド向けプラン、湯治を目的とした長期滞在型観光プラン） ・「こと消費」となる体験型のコンテンツを関係各所と提携し実施 ・観光型ワーケーションやテレワーク拠点として活用 ・フィルムコミッション活動として、撮影場所やイベント会場として活用 ・品川区内からの直行バスを運行 光林荘 ・売却 ・移動教室及び夏期林間学校を主とした活用（他の市区町村の学校利用拡大） ・学校利用でハイシーズンを取られるのは厳しい ・社員研修や新社会人の入社前研修

現状有姿以外による活用方法・条件について	<u>品川荘</u> ・食事提供なしの建物、客室の長期貸付 ・地方への移住検討者向けの体験居住 ・オールインクルーシブ化 ・区専用の高齢者施設、障害者支援施設への用途変更 <u>光林荘</u> ・他団体への長期貸付 ・客室の改修（全室にトイレ・シャワーの設置）を行い、現代の宿泊ニーズに合わせた快適性を確保
その他 （自由意見）	・ハード面の整備 ・設備の劣化部分を減額した入札でなければ厳しい ・契約方法の協議 ・現地採用に伴う地域の新規雇用創出、地域の交流人口の創出など地域貢献を実現 ・現在各コストが高騰しており、従前のコスト計算では安定かつ高品質な運営が困難